

参考資料 1

水酸化マグネシウムの試験データ一覧

投与物質 ¹	試験種類	動物種 ²
水酸化マグネシウム	急性毒性	ラット (2)、マウス (2)
	反復投与毒性	ラット (2)
	発がん性	ラット (3)
	遺伝毒性	復帰突然変異 (<i>in vitro</i>)
	一般薬理	ヒト (2)
	ヒトにおける知見	ヒト (4)
塩化マグネシウム	反復投与毒性	ラット、マウス (2)
	発がん性	マウス
	生殖発生毒性	ラット (2)、マウス (2)
	遺伝毒性	復帰突然変異 (<i>in vitro</i>) (2) 染色体異常 (<i>in vitro</i>)
リン酸三マグネシウム	反復投与毒性	ラット
	生殖発生毒性	ラット
硫酸マグネシウム	生殖発生毒性	ラット
	遺伝毒性	復帰突然変異 (<i>in vitro</i>) (2) 染色体異常 (<i>in vitro</i>)
	ヒトにおける知見	ヒト
炭酸マグネシウム	遺伝毒性	復帰突然変異 (<i>in vitro</i>) 染色体異常 (<i>in vitro</i>)
クエン酸マグネシウム	ヒトにおける知見	ヒト

¹ 網掛けしてある物質が、今回の申請品目である。

² 動物名の後に記載する括弧内の数値は、試験データの数を示す。ただし、1つの場合は記載していない。